

令和元年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」 八戸東 中学校区実践計画書

事務局 八戸市立東中学校（教頭：鈴木 浩司）

1 主題（4年次）

『児童・生徒の笑い声が響く学校・地域づくりをめざして』
～授業・行事におけるより良い人間関係づくりを通して～

2 主題設定の理由

今の児童・生徒たちが社会で活躍する頃には、生産年齢人口のさらなる減少、グローバル化の進展や技術革新等により、社会や職業のあり方そのものも大きく変化する可能性があると言われている。そうした近未来を切り開いていく力を育成するため、さまざまな提言や報告がなされている。

新しい時代に向けて次期学習指導要領の目玉となるのが「主体的・対話的で深い学び」である。この主体的・対話的な学びには、教師と児童・生徒、児童・生徒同士の良い人間関係が不可欠である。社会全体の人間関係の希薄化が問題となっているが、学校において、子どもたちに「よい関わり」を持たせる機会を意図的に設けることで、社会を生き抜く力を身につけさせたい。

児童・生徒にとって居場所や安心感がある授業や行事には、教える教師にも学ぶ子どもたちにも必ず「笑顔」がある。そして笑顔がある学び舎は、生き生きとした教育活動が行われている証であると考えられる。

これまでの成果と課題を踏まえ、特別支援教育の視点を大切にしながら授業づくりをベースに、小中学校の授業実践や行事のあり方を学び合いたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

<input type="checkbox"/> 会長	東中校長	<input type="checkbox"/> 研究推進委員会	
<input type="checkbox"/> 副会長	旭ヶ丘小校長 町畑小校長 美保野小校長	各校 校長，教頭，教務主任， 生徒指導主任(主事)，研修主任， 特別支援コーディネーター	
<input type="checkbox"/> 顧問	東中PTA会長 旭ヶ丘小PTA会長 町畑小PTA会長 美保野小PTA会長	<input type="checkbox"/> 学習指導部 各校研修主任 <input type="checkbox"/> 生活指導部 各校生徒指導主事 <input type="checkbox"/> 行事連携部 各校教務主任 <input type="checkbox"/> 特別支援部 各校特支コーディネーター等	
<input type="checkbox"/> 事務局	東中教頭 旭ヶ丘小教頭 町畑小教頭 美保野小教頭		※各小・中学校の職員が各部に分かれ、活動をする。

4 中学校区の重点指導項目

八戸東中学校区 重点指導項目

〈特別支援教育の充実〉

- ・普通教室在籍で特別に支援を必要とする児童生徒の状況を把握し、情報交換を図り、共通理解を図る。
- ・教室環境、板書の共通化、発問の工夫等、特別支援教育の視点を取り入れた手法を授業に取り入れる。

〈基礎学力をつける指導の工夫〉

- ・興味、関心、意欲を引き出すために「わかる授業」の工夫をし、指導方法等の改善を図る。
- ・授業に話し合い活動、発表活動を取り入れ、自らの考えをまとめさせ、表現する力を育てる。
- ・「主体的・対話的で深い学び」とともに、教科書をしっかり読ませ、しっかりと教え、必要ならば暗記・暗唱や反復学習を取り入れ、基礎・基本を確実に定着させる。
- ・ICTを授業に活用し、わかりやすい授業づくりにつとめる。